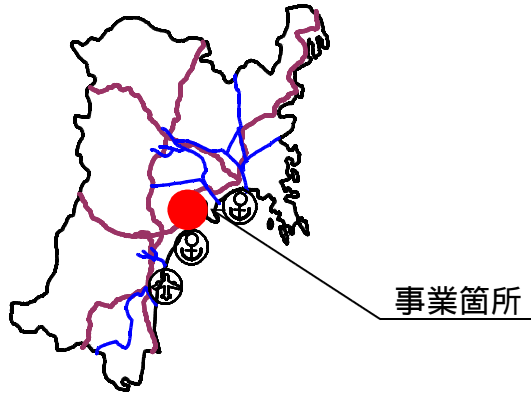


## 再評価結果（平成 2 1 年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局 街路交通施設課  
担当課長名：松井 直人

<b>事業名</b>	JR 仙石線連続立体交差事業（多賀城駅付近）	<b>事業区分</b>	街路	<b>事業主体</b>	宮城県
<b>起終点</b>	自：宮城県多賀城市東田中 至：宮城県多賀城市伝上山	<b>延長</b>	1.8 km		
<b>事業概要</b> JR 仙石線の多賀城駅付近の約 1.8 km において鉄道を高架化することにより、4 箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。					
H 1 1 年度事業化	H 1 1 年度都市計画決定（H 1 5 年度変更）	H 1 6 年度用地着手	H 1 7 年度工事着手		
<b>全体事業費</b>	128 億円	<b>事業進捗率</b>	31%	<b>供用済延長</b>	0km
<b>踏切交通遮断量</b>	約 125,500 台時 / 日				
<b>費用対効果分析結果</b>	B / C (事業全体) 2.6 (残事業) 4.1	<b>総費用</b> (残事業) / (事業全体) 78 / 122 億円 (事業費 : 78 / 122 億円 維持管理費 : 0 / 0 億円)	<b>総便益</b> (残事業) / (事業全体) 320 / 320 億円 (移動時間短縮便益 : 284 / 284 億円 走行経費減少便益 : 35 / 35 億円 交通事故減少便益 : 1.2 / 1.2 億円)	<b>基準年</b> 平成 20 年	
<b>感度分析の結果</b> 交通量、事業費等の事業評価の変動を想定しても、費用便益の結果に問題なし。					
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（4 箇所の踏切の除却、内緊急対策踏切 1 箇所） ・個性ある地域の形成（多賀城市中央地区及び東田中地区と八幡地区との一体的発展）					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 平成 12 年に学校前踏切、平成 16 年に東田中踏切で死傷事故が発生しており、塩釜地区広域行政連絡協議会（塩釜市他 4 市町）などから事業の促進が要望されている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 特になし					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 進捗状況：31%の進捗（用地完了）仮線への切替え済み 残事業：高架橋工事及び多賀城駅駅舎工事					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 着手にあたり、側道等の用地取得に時間を要したが、既に用地確保は完了し、高架化の前段となる仮線への切り替えも済み、高架化への円滑な事業推進が期待される。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 既設軌道のレール等を仮線路工事で再利用すること等により、コスト縮減を図っている。					
<b>対応方針</b>	事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b>	以上を勘案すれば、当初からの事業の必要性、有効性は変わらないと考える。				
<b>事業概要図</b>  別紙 参照					

# J R 仙石線連続立体交差事業（多賀城駅付近） 事業概要図



宮城県



● : 交通が集中する踏切

● : その他の踏切